

コロナ禍における災害対応と避難所における 新型コロナウイルス等感染症対策について

避難所では多くの人が集まり「3つの密（密閉・密集・密接）」が重なりやすく、感染症の発症リスクが高まります。

町では、新型コロナウイルス等感染症対策として防疫用品の備蓄、避難所運営マニュアルの改定による感染リスクを軽減した運営方法や避難所配置図例の作成、開設する避難場所数を増やす検討などの対応・対策を行っています。

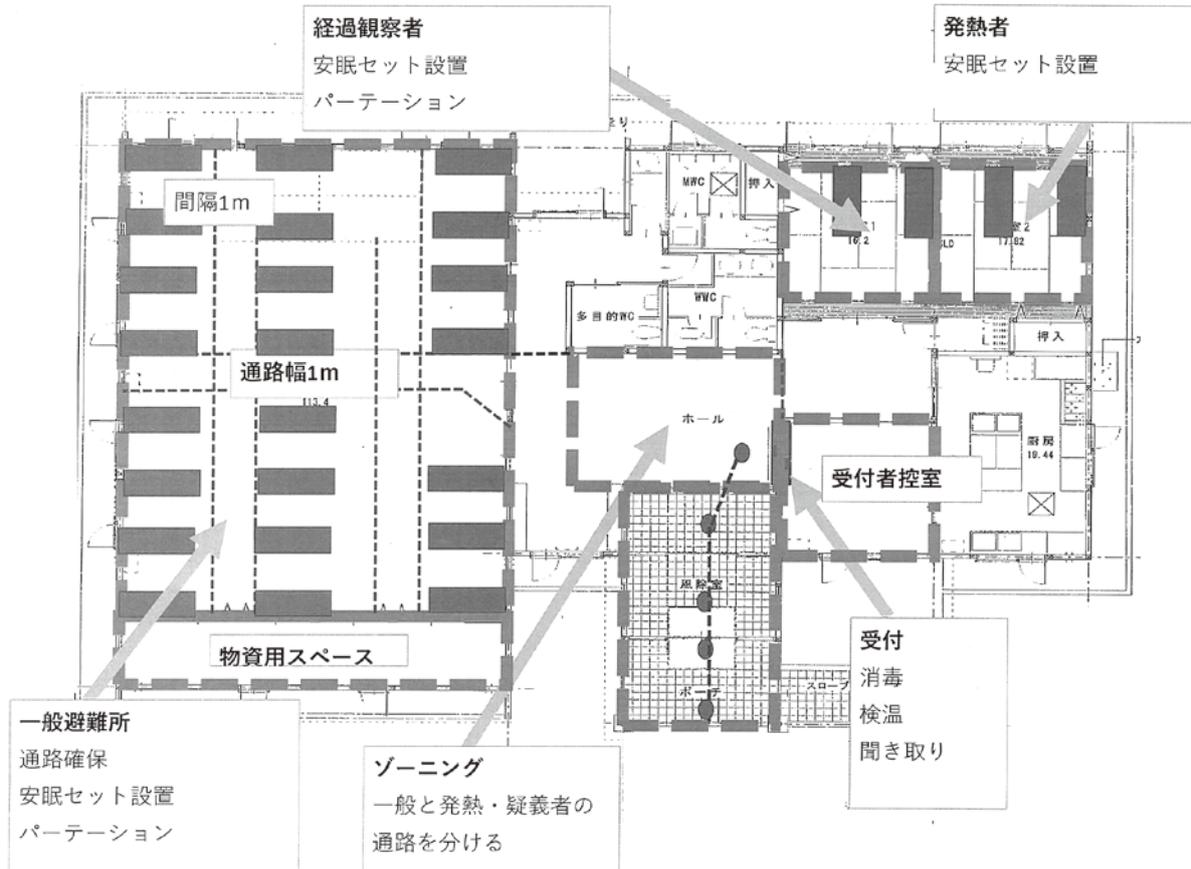
災害時に「感染症を恐れ避難しないこと」を選択してしまうと、命を落としてしまう危険があります。普段から自分の身は自分で守る「自助」の備えを行うとともに、自宅の安全が確保できない場合は早めの行動を心がけてください。

～平時より次のことを心がけましょう～

- 1 自宅の危険性をあらかじめ確認（土砂災害警戒区域、想定浸水区域、耐震性など）
- 2 過密状態となることを防ぐため、在宅避難、親戚・知人宅への避難をあらかじめ検討
- 3 水、食料だけではなくマスク、消毒液などを平時より備蓄

現在、安平町における地震による避難者数の最大規模は1,640人と推計されており、感染症対策を行っても町内にある35か所の避難所で十分収容が可能です。しかし、災害の種類や規模によっては一部の避難所に避難者が集中し収容可能な人数を超える可能性があります。その際に町は、災害からの避難を最優先とし、避難者の受け入れを一旦行ったうえで、その後の状況により他の避難所へ移動していただくなどの対応を行います。

感染症に配慮した避難所の配置（例）



※災害時に主要な避難所となる各公民館等には、避難所運営マニュアル、配置図例、防疫用品を備え付けています。

問合せ 総務課情報グループ ☎ 2511